

公開実用平成 1- 61058

CITATION 2

⑩日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U) 平1-61058

⑬Int.Cl.⁴

B 65 D 51/28

77/20

// B 65 D 85/36

85/50

識別記号

府内整理番号

⑭公開 平成1年(1989)4月18日

Z-6929-3E

E-8407-3E

C-7405-3E

G-7405-3E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮考案の名称 ケーキ菓子容器

⑯実願 昭62-156963

⑰出願 昭62(1987)10月14日

⑱考案者 小池 政夫 東京都武蔵野市吉祥寺南町5-12-11

⑲出願人 小池 政夫 東京都武蔵野市吉祥寺南町5-12-11

⑳代理人 弁理士 山本 量三 外1名

明細書

1. 考案の名称

ケーキ菓子容器

2. 実用新案登録請求の範囲

厚紙から形成される、四角形状の容器本体及び蓋部からなり、容器本体は、その内部が見えるよう上部開口を有し、その側部の少なくとも一方に、ケーキ菓子類を入れるための挿入部を有し、前記蓋部は、容器本体の上部開口と向かい合う面に窓部を有する箱状体に形成されており、その一側縁が容器本体の一側縁にヒンジ結合されて開閉可能にされ、かつ、箱状の蓋部の一側面の少なくとも一方から、生花又はその他所望の物品、カード等を入れるための挿入部を有するとともに、前記容器の上部開口及び前記蓋部の窓部のいずれか一方が透明フィルム材料で覆われたことを特徴とするケーキ菓子容器。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案はフラワーをケーキ菓子とともに贈る

ためのケーキ菓子容器に関する。

〔考案が解決しようとする問題点〕

ケーキ菓子を贈られた者が容器を開いた時、その中に生花が納められていることを見出した場合、一層の感激を覚えることは想像に難くない。しかしながら、生花をケーキ菓子と同じ容器中に密閉状態に置いた場合、ケーキに飾り付けられた果実から発生するガスにより、生花が短時間のうちにしおれてしまうことが知られている。また、生花から飛散する花粉や花弁等がケーキ菓子上に落下するので衛生的でない。さらに、生花とケーキを同じ容器内で相互に遮断された状態で収容することは、箱の構造を複雑にするという問題がある。この考案は、生花の品質を長く維持させるとともに衛生的であり、簡易な構成を有し、かつ贈答品としての付加価値を飛躍的に増加させるケーキ菓子容器を提供するにある。

〔問題点を解決するための手段〕

上記の目的を達成するために、本考案に係るケーキ菓子容器は、厚紙から形成される、四角形

状の容器本体及び蓋部からなり、容器本体は、その内部が見えるように上部開口を有し、その側部の少なくとも一方に、ケーキ菓子又はクッキー類を入れるための挿入部を有し、前記蓋部は、容器本体の上部開口と向かい合う面に窓部を有する箱状体に形成されており、その一側縁が容器本体の一側縁にヒンジ結合されて開閉可能にされ、かつ、箱状の蓋部の一側面の少なくとも一方から、生花又はその他所望の物品、カード等を入れるための挿入部を有するとともに、前記容器の上部開口及び前記蓋部の窓部のいずれか一方が透明フィルム材料で覆われたことを特徴とするケーキ菓子容器を有することを特徴とする。

本考案に用いるケーキ菓子容器の容器本体において、その上部開口を縁取りをした窓部とし、その窓部に透明なフィルム材料を接着し、内部を、密閉状態としてもよい。

容器本体に形成する挿入部は、ケーキ又はクッキー等の菓子類を挿入した後、密閉し得る様に四角状の開口部から延長される複数の折り曲げ

可能な舌片状の蓋を持つものが好ましい。これらの舌片を折り曲げて、その重なり部を接着剤により接着するか、相互に切り込みを設けてその切り込み部を係り合わせるか、または一方に突出部を形成し他方にスリットを設けて、突出部をスリット中に差し込むことにより挿入部を開じてもよい。

蓋部は、容器本体と同様の厚紙から形成される箱状体であって、容器本体の開口部と向かい合う面に開口部または窓部を有し、この開口部または窓部は、透明フィルム材料で内部を密閉するように覆ってもよい。この蓋部は、その内部に生花、ドライフラワー、メッセージカード、ナイフ及びフォークのセット、ナプキン等の物品を収容するような空間を有する。これらの物品を入れるために、その箱状体の蓋部の少なくとも一側面に挿入部を設けている。この挿入部は、容器本体の舌片状の蓋部と同様に複数の折り曲げ片を設けてもよいし、また、一枚の延長片を折り曲げて挿入部を開止してもよい。

容器本体及び蓋部は、それぞれ、箱状体を展開形に打ち抜いた厚紙を折り曲げて箱体を形成し、それらの各一側縁をヒンジ結合することにより、蓋部を開閉可能に取付けてもよい。また、容器本体及び蓋部を立体的に展開形で打ち抜き、箱状に折り曲げて形成すれば、ヒンジ結合の工程が不要となる。

〔作用〕

容器本体中にケーキ菓子等の食品を入れ、蓋部に生花その他の物品が収められるようになっており、容器本体の上部開口及びこれと向かい合う蓋部の開口または窓部の少なくともいずれか一方が、透明フィルム材料により覆われているため、蓋部に納められる生花等の内容物が容器本体中のケーキ菓子等の食品から完全に遮断されている。このため、生花が比較的長時間、新鮮な状態に維持され、また、ケーキ菓子等の食品も衛生的に保たれる。

〔実施例〕

次に、この考案の好ましい実施例を添付の図面

を参照して説明する。第1図ないし第8図において、符号1は容器本体を示し、符号2は蓋部を示す。容器本体1と蓋部2はそれぞれの一側縁3の部分で一体的にヒンジ結合されている。したがって蓋部2は本体1に関して開閉可能である。

容器本体1は、第6図によく示すように、その上部が縁取部4を有する窓部5となっており、その縁取部の内側に透明な塩ビ製フィルム6が貼着されている。

容器本体1は、その対向する1対の側面にケーキ菓子7の挿入部8が形成されている。この1対の挿入部8の構造は同一であり、したがってその一方について説明する。挿入部8の開口部を構成する上下1対の長辺及び1対の左右側辺からそれぞれ伸びる上下舌片9、10及び左右舌片11、12を有する。上部舌片9には差し込み用突部13が設けられ、下部舌片12はスリット状切り欠き部14が設けられている。ケーキ7を本体中に滑り込ませた後、まず左右舌片11、12を内側に曲げ、次いで下部舌片を内側に曲げてから

上部舌片9を曲げて、その先端突部13をスリット状切り欠き部14に差し込む。かくして、ケーキ菓子7が容器本体中に密閉状に納められる。

蓋部2は、容器本体の窓部と対向する面に縁付きの窓部15が開けられている。蓋部2の対向する1対の側部に、挿入部16が設けられている。この挿入部16は、四角形状の開口部の長辺の一方から伸びる舌片17と左右の側辺から伸びる舌片18, 19により構成される。後述するフラワークース及び透明フィルム材料を差し込んだ後、まず左右の舌片18, 19を内側に曲げ、かかる後、一方の長片から伸びる舌片17を折り曲げて蓋部内に差し込むことにより内容物を密閉状に収容する。

蓋部2には、収容される物品としての生花及びメッセージカードの例を説明する。

第8図は生花20を蓋部中で保持する手段を示す。蓋部2の上面及び対向する2つの側辺の寸法に対応する展開形の厚紙21の一部に粘着面を有する紙片22が取付けられており、花束20の茎

部上に覆い被せてこれを厚紙21に固定する。厚紙21の両側片を内側に曲げ、これに透明な塩ビ製フィルムを折り曲げて作成した覆い部23を被せ、透明な覆い部23を蓋部2の開口15側に現れるように挿入部16から滑り込ませる。

第9図及び第10図は、ケーキ菓子容器を持ち運ぶための簡易なパッケージ用手下げ24を示す。この手下げ24は展開形において、その細長い矩形状の厚紙の両端を切り抜いて1対の取手部25を形成しその中央部に容器本体の底部を固定するための接着剤26が塗布されている。ケーキ菓子容器を接着剤により固定した後、第10図に示すように取手部が組合わされる。

(考案の効果)

本考案によるケーキ菓子容器は、生花とケーキ菓子の空間が完全に遮断されているため、衛生的であり、生花が、ケーキ菓子から発散するガスのためにしおれる可能性が少なくなる。また、贈答を受けた者が、容器を開くと、まず生花が目に入り、ケーキ菓子の贈物に一層の感激を覚えること

になる。

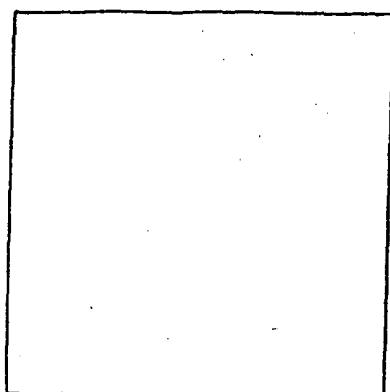
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案によるケーキ菓子容器の平面図、第2図は正面図、第3図は一側面図、第4図は本考案によるケーキ菓子容器の蓋部を開いた状態の斜視図、第5図はケーキ菓子容器の縦断面図、第6図は容器本体及び蓋部にそれぞれケーキ菓子及びフワワークースを挿入する状態を説明する図、第7図はケーキ菓子容器を開いた状態の平面図、第8図はフワワークースを示す正面図、第9図は本考案によるケーキ菓子容器用のパッケージ手下げを示す展開図、及び第10図はパッケージ手下げにより本考案のケーキ菓子容器を包み込んだ状態を示す斜視図である。

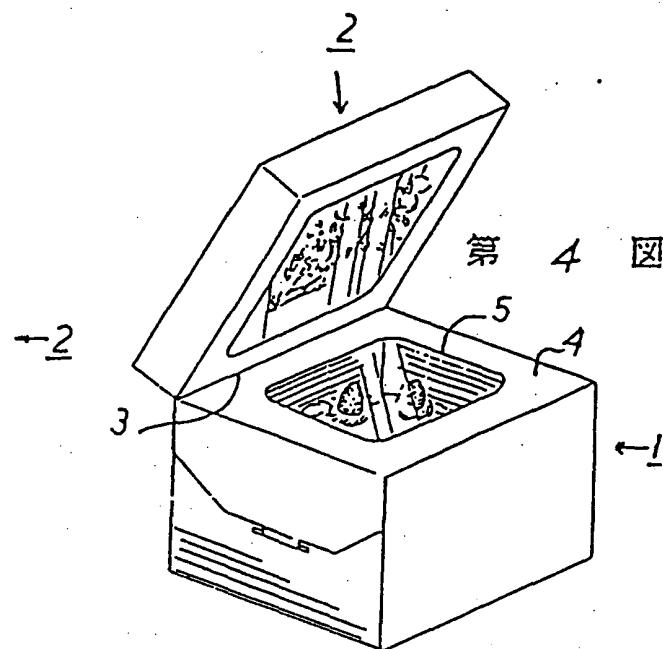
1 … ケーキ菓子容器本体、2 … 蓋部、5 … 容器本体の窓部、7 … ケーキ菓子、15 … 蓋部の窓、
20 … 生花、27 … メッセージカード

実用新案登録出願人 小池 政夫
代理人 弁理士 山本 量三（ほか1名）

第 1 図

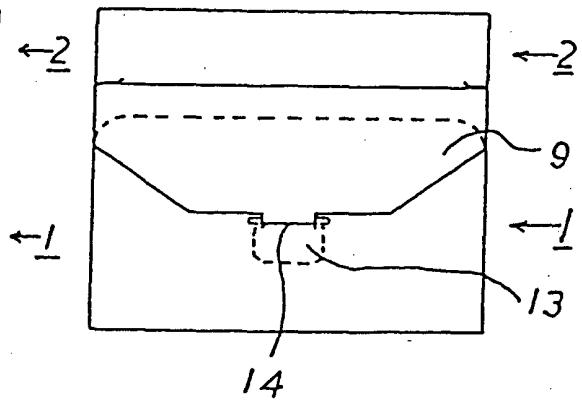
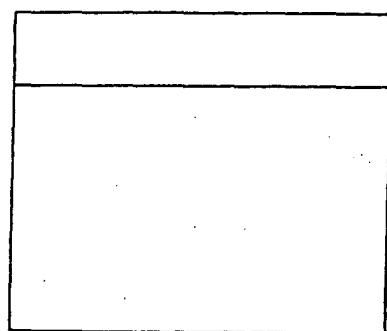


第 2 図

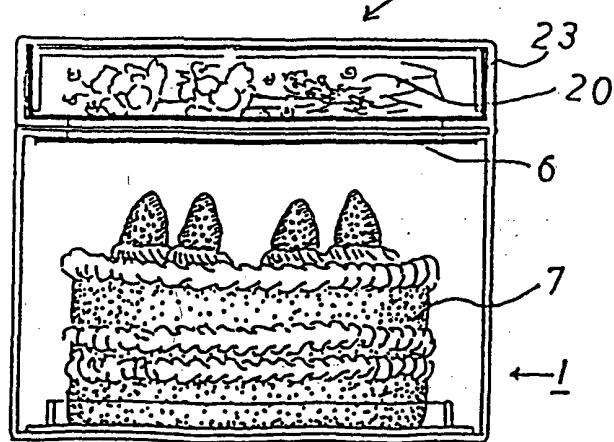


第 4 図

第 3 図



第 5 図

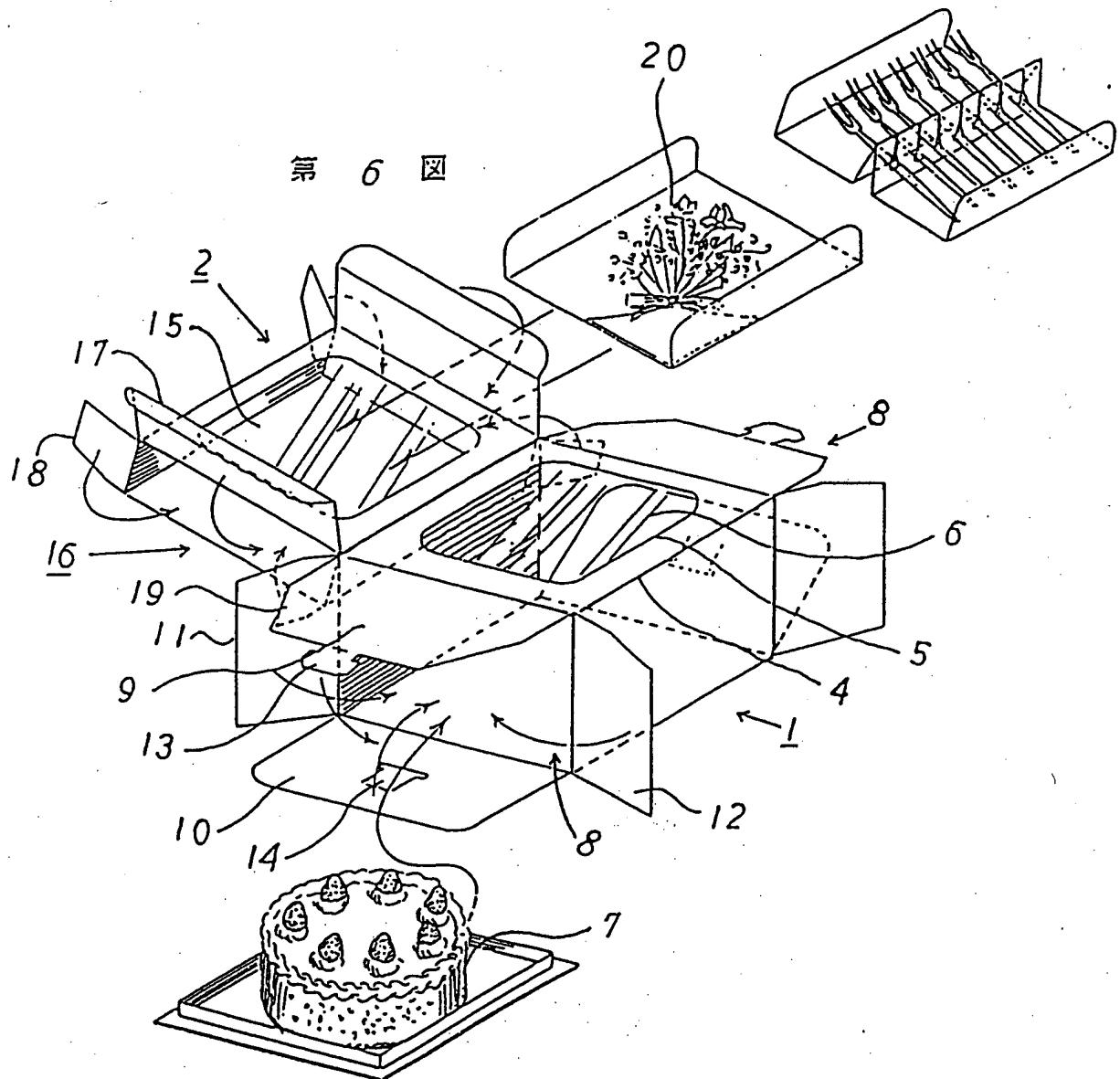


724

実開 1-61058

代理人 山本量三 (ほか 1名)

第 6 図



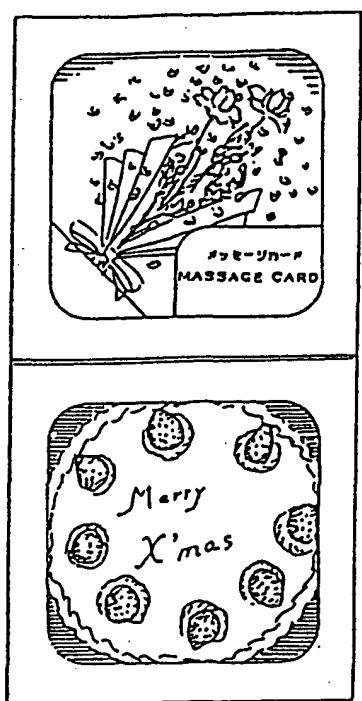
725

•008 1-61084 1

代理人
弁理士 山本量三 (ほか 1名)

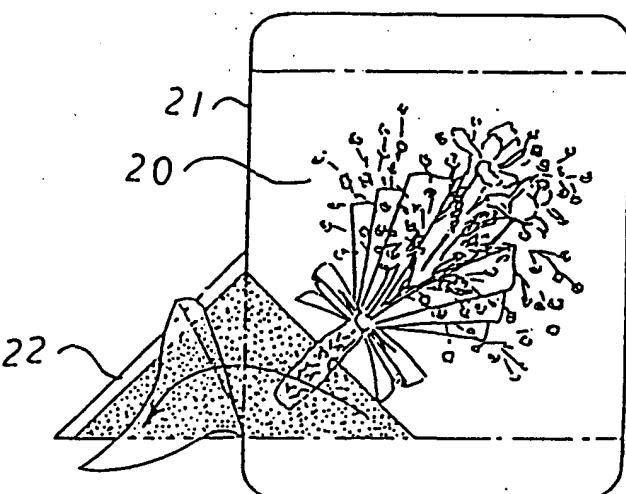
CITATION 2

第 7 図

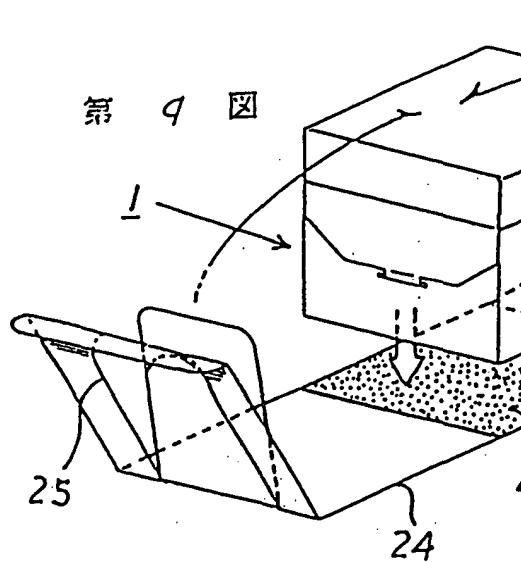


← 2
← 1

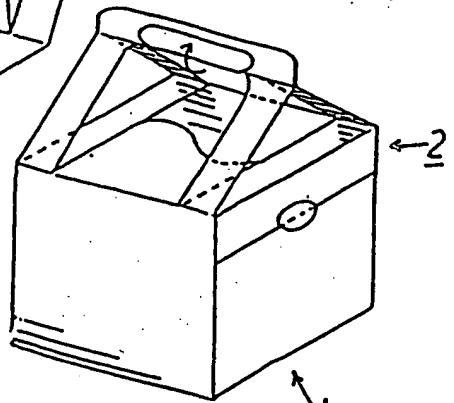
第 8 図



第 9 図



第 10 図



726
代理人 弁理士 山本量三 (ほか 1名)

(Translation)

CITATION 2

Japanese Utility Model Laid-Open Publn. No. 61058/1989

Title: Cake container

FIG. 8 shows means for sustaining live flowers 20 in a cap. A sheet of paper 22 having an adhesive surface is attached to a part of a cardboard 21 having a development corresponding to sizes of a top surface of the cap 2 and two opposed side surfaces thereof. The sheet of paper covers the stems of a bouquet 20 and fixed to the card board 21. Both side surfaces of the card board 21 are bent inward, and then a cover 23 which is formed by bending transparent vinylchloride film is put on.

An insert 16 is slided to be located on the side of an opening 15 of the cap 2.